


 のうじくみあいほうじん じょうとう
農事組合法人 上東

～協定合併による農地の維持管理体制の構築～



農事組合法人上東 設立総会



収穫期を迎えた棚田

経緯

- 平成12年度から集落ごとに取り組んでいた中山間地域等直接支払制度を平成21年度に地域で一つに統合。
- 地域の農地維持の核組織「上東地区営農組合」を平成21年に設立。荒廃農地を再生し、地域の農地を守る活動を開始。

取組内容

- 集落営農組織主体で機械の共同利用や農作業の受託に取り組む。有望品目研究部門を設立し、全組合員が野菜作りに親しむ環境を整備。
- 何度も協議を重ね、平成31年1月に「農事組合法人上東」を設立し生産体制を強化。
- 3月末のカタシの花祭り時期に合わせて住民手づくりのイベントを開催し、都市住民との交流を図る。

活動の効果

- 共同機械の利用面積の増加(H21年7.6ha→H29年35.1ha)。
 - 新規作物(ニラ、加工用ワサビ等)の面積拡大(H21年1.3ha→H29年2.1ha)。
 - ユズ栽培により耕作放棄地の発生防止。
 - 「カタシの花祭り」の開催を通じてミュージシャンの山村誠一氏とつながり、共同でPAN(スティールパン)の学校運営開始。地区外の上東地区ファンが増加。
- 平成27年度多面的機能発揮促進事業中国四国農政局長表彰 中山間地域等直接支払部門最優秀賞受賞

応募団体からのアピール・メッセージ

地域住民一体で、中山間地域での農業の大切さ、農村集落の素晴らしさ、田園風景の維持に取り組んでいます。花祭り、PANの学校を見に来てください。